

第8回 電気システムセキュリティ特別技術委員会  
議事録（案）

日 時 : 平成25年 9月 18日 (水) 13時30分～15時30分

場 所 : 電気学会 第4, 第5会議室

出席者 : 栗原副委員長, 大山委員 (B 部門長), 福本委員 (C 部門長), 渡邊委員 (D 部門代表),  
野田委員 (E 部門代表), 桂幹事 (敬称略), 以上6名

配付資料

- 資料8-0 第8回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料8-1 第7回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録（案）
- 資料8-2 電気技術が支えるスマート社会の安全・安心（安全工学シンポジウム原稿）
- 資料8-3 社会安全推進プラットフォーム社会安全研究会 報告書
- 資料8-4 「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」設置趣意書
- 資料8-5 平成26年 電気学会全国大会 シンポジウム取決め
- 資料8-6 平成26年 電気学会全国大会 シンポジウム（案） 提案用紙

議事概要

1 開会挨拶

栗原副委員長より、開会にあたり挨拶があった。また、本特別技術委員会の目的やセキュリティの定義などについて確認がなされた。本委員会としては広い意味でのセキュリティについて取り扱うが、特に電気エネルギーの供給信頼度のマネジメントのあり方などについてまずは検討を進めることが確認された。

2 前回議事録の確認

資料8-1に基づき、平成25年6月12日に開催された第7回委員会の議事録（案）について確認され、承認された。

3 役員懇談会報告

栗原副委員長より、平成25年7月26日に行われた役員懇談会の報告がなされた。日本学術会議主催の安全工学シンポジウムでの日高会長の講演資料（資料8-2）、土木学会が中心になって進められている工学連携ワークショップの報告書（資料8-3）に関して、参考資料として確認が行われた。

4 特別調査専門委員会の設置について

資料8-4に基づき、大山委員より「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」の設置趣意書の説明があり、平成25年10月～平成27年9月（2年間）の期間として設置が承認された。

・(福本委員)

部門に活動を紹介するために、特別調査専門委員会を本委員会の中で開催して頂くことも可能か。

・(大山委員)

支部での講演会などでもシンポジウムを開催することも可能と思われる。

・(栗原副委員長)

他部門との連携はどのように進めれば良いか。

- ・(大山委員)  
委員会を開催しているうちに連携も見えてくるのではないかと。
  - ・(渡邊委員)  
鉄道のルールは50～60年以上前に決められたものが変わっていない
  - ・(大山委員)  
このテーマは取り込めるのではないかと。
- 5 全国大会でのシンポジウムについて  
資料8-5, 8-6に基づいて全国大会での本部提案のシンポジウム提案(10月15日締め切り)について説明があり、検討が行われた。
- ・(渡邊委員)  
テーマ名が一般の方に分かりやすく、惹きつけるようにできると良い。
  - ・(大山委員)  
設置が承認された特別調査専門委員会の余利野委員長に確認をしたい。
  - ・(渡邊委員)  
テーマ名が一般の方に分かりやすく、惹きつけるようにできると良い。
  - ・(栗原副委員長)  
状況について特別調査専門委員会にご説明を頂き、シンポジウム提案が可能かどうかご検討頂きたい。
- 6 特別調査専門委員会の設置検討について  
上記B部門主導の委員会以外に特別調査専門委員会が設置可能かどうか状況の報告があった。
- 6-1 C部門(福本委員)  
電力システムの中の情報通信などでB部門主導の委員会の動向を見ながら連携を模索していきたい。またセキュリティの範囲が広がれば、本来の意味でのセキュリティについて関連している委員会をリンクさせたりすることが可能と考える。
- ・(栗原副委員長)  
来年春を目処に設置を検討して頂きたい。
- 6-2 D部門(渡邊委員)  
電気鉄道やスマートグリッドなどがテーマの候補として考えられる。
- ・(栗原副委員長)  
スマートグリッドは次世代のシステムとして検討頂ければと思われる。
- 6-3 E部門(野田委員)  
個別案件では協力可能であるとする。各技術委員会にて検討依頼を行っており、11月頭の役員会で報告を受ける予定である。

次回開催：第9回 委員会：平成25年 12月を予定